



ウチエのシャワー椅子

湯チェア 12

ご使用のしおり

品番：UC-102 (肘あり/イエロー)
UC-103 (肘なし/イエロー)
UC-104 (背あり/イエロー)
UC-112 (肘あり/レッド)
UC-113 (肘なし/レッド)
UC-114 (背あり/レッド)

**最大使用者体重
80kg 以下**

このたびは、弊社『湯チェア12』をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ・ご使用になる前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ・本書は必ず保管しておいてください。
- ・本品を他のお客様へお譲りになるときは、必ず本書も合わせてお渡してください。
- ・お買い上げのシャワー椅子は改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。

各部名称

肘ありタイプ



肘なしタイプ



背ありタイプ



サイズ

単位：cm

	肘ありタイプ	肘なしタイプ	背ありタイプ
幅	47	42	
奥行	42~48(17.5)	40~48(17.5)	
高さ	69~75 (82.5~90)	54~60 (73~80.5)	69~75 (73~80.5)
前座高	38~44 [2cm 刻み、4 段階]		
肘から肘	38	—	—
肘から前座	22.5	—	—
座シート幅	37.5		
座シート奥行	35		
肘の長さ	32	—	—

※()内の数字は、折りたたんだ時のサイズ。

仕様

材質	・本体／アルミ、ポリアミド ・背パッド、座シート、肘掛けシート／EVA ・脚ゴム／合成ゴム
重量	約 4.1kg(肘あり)、約 3.5kg(肘なし)、 約 3.6kg(背あり)

お手入れの方法

- ・ご使用後は、石けんやシャンプー、入浴剤などを洗い流してください。汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤に浸した布を絞って拭き、水で洗剤を洗い流してください。
- ・最後に、やわらかい布でから拭きや、日陰の通気性の良い場所で乾かしてください。
- ・ソフトパッド(背パッド、座シート)は本体から取り外し、お手入れをしてください。
- ・ソフトパッド(背パッド、座シート、肘掛けシート)、脚ゴムは消耗品です。汚れたり破損した場合は、ご購入の上、交換してください。

⚠️ 注意

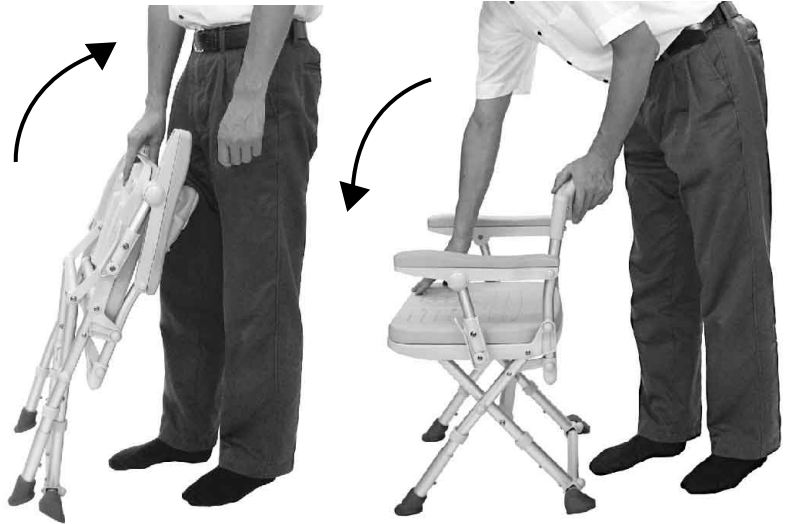
- ※肘掛けシートは、接着されています。交換する時以外は絶対に取り外さないでください。
- ※ご使用後は、必ず乾かしてください。濡れたまま放置されますと、塗装はがれ、カビの原因となります。
- ※お手入れをされていても、カビが発生する場合があります。
- ※塩素系・酸性・アルカリ性洗剤や、アルコール・シンナー・ベンジン・灯油などの溶剤は絶対に使用しないでください。また、タワシやみがき粉、研磨剤等は使用しないでください。本体が劣化し、破損、けがの原因となります。
- ※直射日光に当てないでください。樹脂部品が劣化し、破損、けがの原因となります。また、退色するおそれがあります。
- ※熱湯をかけないでください。樹脂部品が劣化し、破損、けがの原因となります。
- ※アイロン、乾燥機の使用はおやめください。

開き方

1. 本体を立てた状態で後ろに傾けて、前脚を浮かせます。(写真①)
2. 背もたれを押さえ、座面中央の先端を押すと、開きます。(写真②)

⚠ 注意

- ※ 座面が水平になっていることを確認してください。
- ※ 手や指などはさまないように注意してください。



写真①

写真②

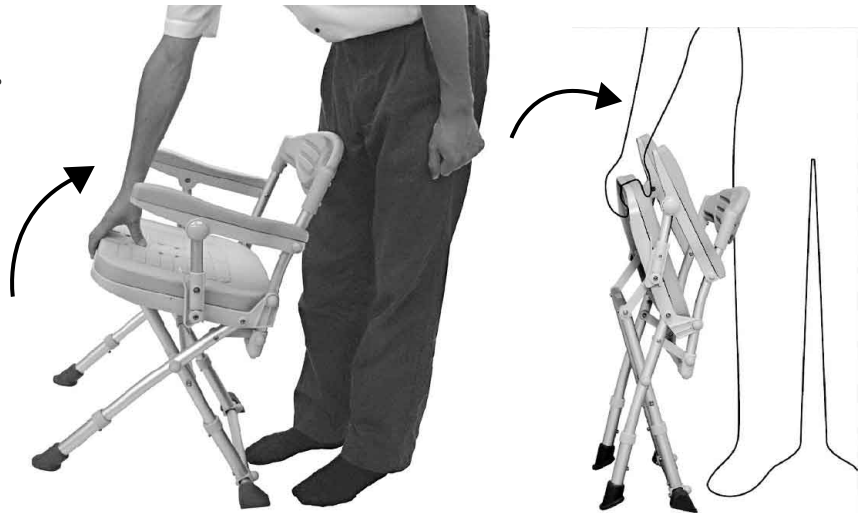
折りたたみ方

- ・片手で折りたたみができます。
- ・折りたたんでも自立しますので、場所を取りません。

1. 本体を立てた状態で座面中央の先端を持ち、後ろに傾けて前脚を浮かせます。(写真①)
2. 写真②のように、背もたれを脚部にあて、座面を折りたたみます。

⚠ 注意

- ※ 手や指などはさまないように注意してください。



写真①

写真②

高さ調節の仕方

- ・座面の高さは脚部のピンロックで調節できます。

※ 前脚

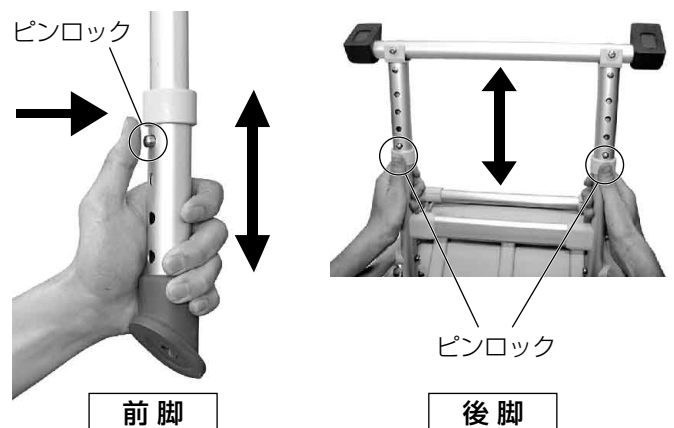
1. ピンロックを押しながら脚部を上下にスライドし、設定したい高さの穴に合わせます。
2. 高さ調節後、ピンロックが確実に穴から出ていることを確認してください。

※ 後脚

- 後脚は両方同時にピンロックを押しながら、調節をしてください。
片方ずつ行なうと、調節ができません。

⚠ 注意

- ※ 座面の高さは、ご利用者の身体状況に合わせて調節してください。
- ※ 床にかかるとがつか高さ以内で調節してください。かかるとが床につかない高さでご利用されますと、バランスを崩し、転倒するおそれがあります。
- ※ 高さ調節をする際は、指詰めにご注意ください。
- ※ ピンロックが確実にパイプから出ている事を確認してください。
- ※ 前脚と後脚を同じ高さに調節してください。
- ※ ピンロックを強く押し過ぎないでください。ピンロックがパイプから出なくなるおそれがあります。

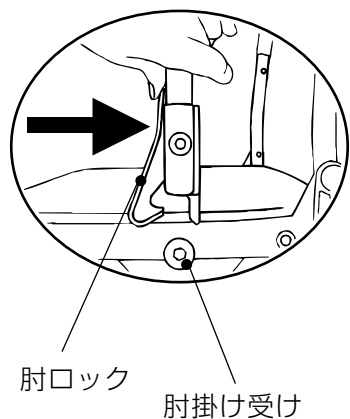


肘掛けの取扱い方

肘ありタイプ

- ・肘ロックの上部を押してロックを解除し(図①)、肘掛けをはね上げます。(写真①) 肘掛けの支柱は、折りたたむことができます。(写真②)
- ・さらに肘掛けは、後方に回転させることができますので(写真③)、座ったままの身体の方向転換や、浴槽などへの横移乗ができます。
- ・肘掛けをロックする際は、支柱を写真①の状態に戻し、肘ロックを肘掛け受けにはめ込んでください。

※肘掛けを上から押すだけで、肘ロックはカチッとかかります。



図①



写真①



写真②

支柱



写真③

⚠注意

- ※肘掛けの支柱を折りたたんだ場合(写真②)、必ず支柱を写真①の状態に戻してから、肘掛け受けにロックをしてください。
- ※指詰めにご注意ください。
- ※使用時には必ず肘ロックをロックしてください。ロックがされていないと、肘掛けが外れ、転倒、けがをするおそれがあります。
- ※ご利用者を乗せたまま、肘掛けを持って移動しないでください。肘ロックが破損し、転倒、けがをするおそれがあります。
- ※はね上げた肘掛けは後方へ回転しますので、寄りかからないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- ※固定した肘掛けの先端を内側から強く押さないでください。肘ロックが肘掛け受けから外れ、破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- ※背もたれに寄りかからずに肘掛けの操作(はね上げ、ロック)をしてください。肘ロックの解除や固定がしにくい場合があります。

ソフトパッド(背パッド・座シート)の取り外し・取り付け

※肘掛けシートは、接着されています。交換する時以外は絶対に取り外さないでください。

- 取り外し方
背もたれや座面の裏側からソフトパッドを押して、取り外します。
- 取り付け方
ソフトパッド裏面の凸部を、背もたれや座面のそれぞれの穴に合わせ、上からしっかりと押し付けて取り付けます。
- 肘掛けシートの交換方法
1. 肘掛けシートを肘掛けから取り外します。
2. 肘掛けに接着剤を適量垂らし、肘掛けシート裏面の凸部を肘掛けの穴に合わせ、上からしっかりと押し付けて取り付けます。



背パッド



座シート

⚠注意

- ※ソフトパッドがしっかりと固定されているか確認してから使用してください。転倒、けがをするおそれがあります。
- ※ソフトパッドを取り外す時は、必ず背もたれや座面の裏側からソフトパッドを押して、取り外してください。
- ※ソフトパッドを横から引っ張ったり、力を入れて抜かないでください。ソフトパッドが裂ける場合があります。
- ※肘掛けシート交換後は、肘掛けシートが肘掛けにしっかりと接着されている事を確認してください。

⚠ 安全上の注意事項

- 本製品は、浴室使用専用の『入浴用いす』です。それ以外の目的では使用しないでください。
- 本製品を本来の目的以外で使用したり、お客様ご自身での改造や分解が原因で起きた破損・事故に関しましては、保証対象外となりますのでお止めください。
- 平坦で安定した場所に置いて使用してください。転倒、けがをするおそれがあります。
- 石鹸やシャンプーを使用した際は、必ず洗い流してからお乗りください。滑って転倒、けがをするおそれがあります。
- 本製品を浴槽に沈めての使用はしないでください。腐食による破損、塗装のはがれ、けがをするおそれがあります。
- 踏み台の代わりとして座面の上に立つなど、『入浴用いす』の用途以外で使用しないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 肘掛けや背もたれに腰掛けしないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 肘掛けや背もたれを、ななめや他方向から押さないでください。転倒するおそれがあり、危険です。
- 4本の脚部は同じ高さに調節してください。
- 高さ調節をする際は、ピンロックを強く押し過ぎないでください。ピンロックがパイプに入り込み、戻らなくなる場合があります。
- 高さ調節をする際は、指詰めにご注意ください。
- 使用する前や高さ調節後は、高さ調節のピンロックが確実にパイプから出ている事を確認してください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 背パッド、座シート、肘掛けシートが、確実に取り付けられていることを確認してください。特に肘掛けシートは、肘掛けにしっかりと接着されていることを確認してください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 肘掛けシートは、交換する時以外は取り外さないでください。
- 使用する際は、座面が水平になっている事を確認してください。
- 4つの脚ゴムが確実に取り付けられている事を確認してください。不安定な状態で使用すると転倒、けがをするおそれがあります。
- 立ち上がりや座る際に、肘掛けや座面の片側だけに手をつく、背もたれを手すり代わりに使用する、肘掛けを手すり代わりにして横方向に力かける、などしないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 座面のフチや背もたれ、肘掛けに座らないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 座った状態で、後ろにのけぞって背もたれに体重をかけすぎないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 折りたたんだ状態で本体を押ししたり、手すり代わりに使用しないでください。転倒、けがをするおそれがあります。
- ご利用者が座っている状態で肘掛けや本体を持ち上げたり、本体を引きずって移動しないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 肘掛けを使用する際は、必ず肘ロックをしてください。ロックがされていないと、不意に肘掛けが外れ、危険です。
- 肘掛けをはね上げたり下ろす時に、腕や手、指などをはさまないように注意してください。
- はね上げた肘掛けは、後方に回転します。危険ですので、寄りかからないでください。
- 肘掛けシートを握って左右にひねったり、持ち上げないでください。不意に肘掛けシートが肘掛けから外れ、破損、けがをするおそれがあります。
- 折りたたみや開く際は、手や指などをはさまないように注意してください。
- 座面の水抜き穴に指を入れしないでください。指が抜けなくなったり、けがをするおそれがあります。
- 温泉水や硫黄系の入浴剤をかけての使用はしないでください。腐食による破損、塗装のはがれ、けがをするおそれがあります。
- 故障、変形、変色の原因となりますので、次のところに放置しないでください。
 - ・戸外
 - ・直射日光のあたる場所
 - ・冷暖房の冷氣や熱気が直接当たる場所
 - ・ストーブなど火気の近く
 - ・風通しの悪い場所
- 折りたたんだ状態で保管する際は、本体の上に重いものをのせしないで、平坦で安定した場所に置いてください。
- 箱に入れたまま長期間置かれますと、プラスチック部分が変色します。通気性を良くして保管してください。
- ねじがゆるんだまま使用しないでください。
- 1ヶ月に一度は定期点検を実施してください。
- お手入れには、次のものを使用しないでください。本体が劣化し、破損、けがをするおそれがあります。
 - ・塩素系、酸性、アルカリ性洗剤
 - ・アルコール、シンナー、ベンジン、灯油などの溶剤
 - ・タワシ、研磨剤
 - ・塩素系薬剤をかけての殺菌や消毒

商品廃棄方法

各市区町村条例で定められた分別に従って廃棄してください。